

# 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和5年1月23日（月） 9：17～9：24

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：岸 田 文 雄 内閣総理大臣  
松 本 剛 明 国務大臣（総務大臣）  
齋 藤 健 国務大臣（法務大臣）  
林 芳 正 国務大臣（外務大臣）  
鈴木 俊 一 国務大臣（財務大臣、内閣府特命担当大臣）  
永 岡 桂 子 国務大臣（文部科学大臣）  
加 藤 勝 信 国務大臣（厚生労働大臣）  
野 村 哲 郎 国務大臣（農林水産大臣）  
西 村 康 稔 国務大臣（経済産業大臣、内閣府特命担当大臣）  
斉 藤 鉄 夫 国務大臣（国土交通大臣）  
西 村 明 宏 国務大臣（環境大臣、内閣府特命担当大臣）  
浜 田 靖 一 国務大臣（防衛大臣）  
松 野 博 一 国務大臣（内閣官房長官）  
河 野 太 郎 国務大臣（デジタル大臣、内閣府特命担当大臣）  
渡 辺 博 道 国務大臣（復興大臣）  
谷 公 一 国務大臣（国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣）  
小 倉 將 信 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
後 藤 茂 之 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
高 市 早 苗 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
岡 田 直 樹 国務大臣（内閣府特命担当大臣）  
陪 席 者：木 原 誠 二 内閣官房副長官  
磯 崎 仁 彦 内閣官房副長官  
栗 生 俊 一 内閣官房副長官  
近 藤 正 春 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

- 一般案件 8 件
- 国会提出案件 1 件
- 人事 1 件
- 配布 1 件

いずれも、案件表のとおり、決定等となった。

議事内容：

○松野国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、木原副長官から御説明申し上げます。

○木原内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、去る20日の閣議において御検討いただきました、内閣総理大臣施政方針演説案、外務大臣の外交演説案、財務大臣の財政演説案及び経済財政政策担当大臣の経済演説案について、それぞれ御決定をお願いいたします。

次に、「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、後藤大臣から御発言があります。

次に、「令和5年度予算」を国会に提出することについて、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、財務大臣から御発言があります。

次に、「令和2年度決算に関する参議院の議決について講じた措置」について、御決定をお願いいたします。本件は、参議院において「令和2年度決算」を議決した際に指摘された事項について、政府が講じた措置を参議院に報告するものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。加来壽和外178名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

次に、配布資料といたしまして、「消防白書」があります。本件につきましては、後程、総務大臣から御発言があります。

○松野国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、後藤大臣。

○後藤国務大臣：昨年12月22日に閣議了解いただいた「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」に関し、令和5年度予算案等を踏まえ、政府支出に係る計数の追加等を行いました。経済成長率は、令和4年度に実質で1.7パーセント程度、令和5年度については、世界経済の減速は見込まれるものの、総合経済対策の効果の発現が本格化し、「人への投資」や成長分野における官民連携の下での投資が促進されることから、実質で1.5パーセント程度の民需主導の成長が見込まれます。総合経済対策や補正予算、新しい資本主義の実現に向けた施策などを早期かつ効果的に実行に移し、我が国経済を民需主導の力強い成長軌道に回復させていけるよう、万全の経済財政運営を行ってまいります。関係閣僚各位には、引き続き御協力をお願いいたします。

○松野国務大臣：次に、財務大臣。

○鈴木国務大臣：令和5年度予算につきましては、計数整理等を完了いたしましたので、本日ここに閣議の御決定を求め、国会に提出することと致したいと存じます。これまでの関係各位の御協力に感謝いたします。令和5年度予算は、歴史の転換期にあって、日本が直面する内外の重要課題の解決に道筋をつけ、未来を切り拓くための予算としており、速やかに成立させる必要があります。引き続き、皆様の御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

○松野国務大臣：次に、総務大臣。

○松本国務大臣：本日、令和4年版の消防白書を公表します。特集では、近年の大規

模自然災害を踏まえた消防防災体制の整備のほか、新型コロナウイルス感染症対策や、消防団の充実強化、消防防災分野におけるDXの推進、北朝鮮による弾道ミサイル発射に伴う対応について記載しています。また、本編では、火災をはじめとする各種災害の現況と課題、消防防災の組織と活動などについて記載しています。この白書により消防防災に対する国民の皆様の御理解を深め、より一層消防防災体制の充実強化に努めてまいります。

○松野国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

なお、海外出張されたデジタル大臣ほか2大臣の帰朝報告は、お手元の資料のとおりです。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

